

D A T A F I L E

貸借対照表(要旨)

(単位:億円)

科目	平成15年度末	科目	平成15年度末
資産の部			
現金及び預貯金	2,975	保険契約準備金	227,709
コールローン	7,000	支払備金	1,748
買入金銭債権	1,025	責任準備金	221,011
金銭の信託	99	社員配当準備金	4,948
有価証券	144,336	社債	97
うち公社債	75,872	その他負債	8,782
うち株式	36,321	退職給付引当金	785
うち外国証券	30,805	債権売却損失引当金	0
貸付金	79,654	偶発損失引当金	593
不動産及び動産	13,529	価格変動準備金	1,628
うち土地	8,129	再評価に係る繰延税金負債	430
うち建物	4,747	負債の部合計	240,026
その他資産	3,752	資本の部	
繰延税金資産	1,084	基金	1,900
貸倒引当金	△159	基金償却積立金	1,600
資産の部合計	253,298	再評価積立金	4
		剰余金	2,880
		損失てん補準備金	46
		任意積立金	866
		当期末処分剰余金	1,967
		土地再評価差額金	760
		株式等評価差額金	6,126
		資本の部合計	13,272
		負債及び資本の部合計	253,298

貸借対照表(要旨)について

「資産の部」
生命保険会社の資産の部は、一般の企業のような流動・固定の区分ではなく、どのように運用しているのかがわかるように資産運用の形態(現金及び預貯金、有価証券、貸付金、不動産及び動産など)により区分しています。

「負債の部」

生命保険会社では、保険業法の規定により、将来の保険金・年金・給付金の支払いに備え、ご契約者から払込まれた保険料などをもとに、責任準備金の積立が義務づけられています。負債の部は、この責任準備金などの保険契約準備金が大部分を構成しています。

「資本の部」

相互会社の資本の部は、株式会社の資本金に相当する基金や基金償却積立金、土地再評価にともなう土地再評価差額金、その他有価証券の時価評価による株式等評価差額金などによって構成されています。

損益計算書(要旨)

(単位:億円)

科目	平成15年度 (注1)	ご参考 合算値(注2)
経常損益の部		
①経常収益	36,268	49,092
保険料等収入	23,956	32,967
資産運用収益	5,143	7,099
うち利息及び配当金等収入	4,064	5,406
うち有価証券売却益	177	522
うち特別勘定資産運用益	893	1,107
その他経常収益	7,167	9,026
うち責任準備金戻入額	3,889	5,247
②経常費用	33,208	45,583
保険金等支払金	26,209	35,641
責任準備金等繰入額	34	70
資産運用費用	772	1,935
うち有価証券売却損	401	855
うち有価証券評価損	74	168
事業費	3,168	4,510
その他経常費用	3,023	3,425
③経常利益(=①-②)	3,059	3,509
④特別利益	84	379
うち不動産動産等処分益	2	2
うち貸倒引当金戻入額	82	109
⑤特別損失	1,288	1,612
うち不動産動産等処分損	339	446
うち価格変動準備金繰入額	619	639
⑥税引前当期純剰余(=③+④-⑤)	1,856	2,277
⑦法人税及び住民税	112	
⑧法人税等調整額	27	
⑨当期純剰余(=⑥-⑦-⑧)	1,715	
⑩合併による未処分剰余金受入額	266	
⑪土地再評価差額金取崩額	△27	
⑫任意積立金目的取崩額	13	
⑬当期末処分剰余金(=⑨+⑩+⑪+⑫)	1,967	

(注1)平成15年4～12月の明治生命および平成16年1～3月の明治安田生命の数値を記載しています。

(注2)平成15年4～12月の明治生命および安田生命と平成16年1～3月の明治安田生命を単純合算した数値を記載しています。

剰余金処分案

(単位:億円)

科目	平成15年度
当期末処分剰余金	1,967
任意積立金取崩額	5
不動産圧縮積立金取崩額	5
計	1,973
剰余金処分額	1,973
社員配当準備金	1,422
差引純剰余金	550
損失てん補準備金	4
基金利息	23
任意積立金	522
基金償却準備金	360
価格変動積立金	126
退職給与積立金	2
社会厚生事業増進積立金	4
不動産圧縮特別勘定積立金	28

平成15年度の剰余金処分案につきましては、7月に実施する総代会で承認を受けるまでは確定ではありません。承認結果につきましては、総代会後の決算公告にてお知らせします。なお、ディスクロージャー資料および当社ホームページでもお知らせします。

損益計算書(要旨)について

生命保険会社では、一般の企業のような営業損益、営業外損益、特別損益という区分ではなく、経常損益、特別損益の2つの区分になります。経常損益は、保険にかかわる損益と資産運用にかかわる損益およびそれ以外の損益で構成され、経常収益と経常費用に分けられます。経常収益には保険料等収入や資産運用収益などが記載され、経常費用には保険金等支払金や資産運用費用、事業費などが記載されています。この経常収益と経常費用の差額が経常利益となり、これに特別損益を加減算したものが税引前当期純剰余となります。

基礎利益

(単位:億円)

項目	平成15年度 (注1)	ご参考 合算値(注2)
基礎利益 A[①-②]	3,452	4,627
基礎収益①	36,130	48,621
保険料等収入	23,956	32,967
資産運用収益(注3)(注4)	4,963	6,627
その他経常収益(注4)	7,210	9,026
基礎費用②	32,677	43,993
保険金等支払金	26,209	35,641
責任準備金等繰入額	34	70
資産運用費用(注3)(注4)	241	345
事業費	3,168	4,510
その他経常費用	3,023	3,425
キャピタル損益 B	△350	△1,118
臨時損益 C	△42	△0
経常利益 A+B+C	3,059	3,509

(注1)平成15年4～12月の明治生命および平成16年1～3月の明治安田生命の数値を記載しています。

(注2)平成15年4～12月の明治生命および安田生命と平成16年1～3月の明治安田生命を単純合算した数値を記載しています。

(注3)資産運用収益・費用には、金銭の信託運用損益のうち利息及び配当金等収入に相当する金額等を含みます。

(注4)損益計算書上の資産運用収益・費用およびその他経常収益のうち、キャピタル損益および臨時損益に相当する金額を除いています。

リスク管理債権額

(単位:億円)

区分	平成15年度末
破綻先債権額	11
延滞債権額	108
3ヵ月以上延滞債権額	0
貸付条件緩和債権額	351
合計	472
(貸付残高に対する比率)	0.59%
(保全率)	96.3%

(注)保全率とは、リスク管理債権額に対する、担保、保証、貸倒引当金等で保全された債権額の割合です。

実質純資産額

(単位:億円)

	平成15年度末
実質純資産額	26,877
(一般勘定資産に対する比率)	10.9%

(注)「保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令」第3条第2項の規定に基づき算出しています。

当社の格付(平成16年5月1日時点)

「格付」とは、会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表わしたものです。

(株)日本格付研究所 保険金支払能力格付	A+	(株)格付投資情報センター 保険金支払能力格付	A
AMベスト社 保険財務力格付	A	スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付	BBB+

※「保険金支払能力格付」は、保険金支払債務を契約どおり支払うことができる能力を評価したものです。「保険財務力格付」は、保険契約の諸条件に従い保険金を支払う能力に関し、保険会社の財務内容について評価したものです。

※上記の格付は、当社が依頼して取得したものです。格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推薦するものではありません。格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

ソルベンシー・マージン比率

(単位:億円)

項目	平成15年度末
ソルベンシー・マージン総額(A)	26,011
①資本の部合計	5,756
②価格変動準備金	1,628
③危険準備金	4,399
④一般貸倒引当金	100
⑤その他有価証券の評価差額(税効果控除前)×90%	8,635
⑥土地含み損益	△647
⑦負債性資本調達手段等(劣後ローン、劣後債等)	1,097
⑧控除項目	△19
⑨その他(保険契約準備金の一部、税効果相当額等)	5,059
リスクの合計額(B)	$\sqrt{10^2 + (10+10)^2} + 10$
⑩保険リスク相当額	2,100
⑪予定利率リスク相当額	1,241
⑫資産運用リスク相当額	5,210
⑬経営管理リスク相当額	171
ソルベンシー・マージン比率	$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$
	747.9%

(注1)上記は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

(注2)「資本の部合計」には社外流出予定額およびその他有価証券の評価差額金を除いた金額を記載しています。

(注3)「土地含み損益」には再評価後の時価変動による含み損益を記載しています(「土地の再評価に関する法律」に基づき明治生命は平成11年度末に、安田生命は平成12年度末に再評価を実施しました)。

有価証券の含み損益(一般勘定)

(単位:億円)

区分	平成15年度末		
	帳簿価額	時価	含み損益
公社債	73,325	74,780	1,454
株式	23,156	31,439	8,282
外国証券	25,311	26,373	1,062
その他共計	123,296	134,188	10,891

(注1)時価のある有価証券等の含み損益相当額を記載しています。

(注2)「その他共計」には買入金銭債権を含みます。

明治安田生命プロフィール(平成15年度末)

正式名称	明治安田生命保険相互会社 Meiji Yasuda Life Insurance Company
社員(契約者)数	7,432,052人
従業員数	49,412人(うち営業職員39,128人)
営業拠点数	支社/100 営業所/1,588 法人部/25